



「学童保育のあ」だより

2023年度5月号

栄区桂台西1丁目30-7
☎ 080-7084-3710
✉ gkdnoah@gmail.com



今後の予定

5月6日土曜開所日：5月20日、27日
6月3日、17日、24日

* 上記土曜日全て、「ユトリー口」こども食堂
あります12時～

- 🇯🇵 5/11日アイロンビーズコンテスト発表
- 🌿 11日以降 家族への感謝プレゼント作りスタート
- 🇯🇵 5/16(火) 4月・5月生れ誕生会
- 🌿 5/29(月) 上郷小・桂台小1日保育
- 🇯🇵 6/2(金) 開港記念日1日保育(弁当・水筒要)
学童～皆城山～野七里バラ園へ遠足
- 🌿 6/10(土) 保護者総会・百万人のクラシックライブ
親子コンサート・茶話会

おけいこ事も継続していきます

- ♠ お抹茶 (第3水) 成澤先生 5/17(水) の予定
- ♠ お習字 5/24(水) 31(水) (トミー担当)
- ♠ そろばん (毎木曜日) (初江さん担当)
夏休みからスタートします
それまで基礎練習の日を設ける予定
- ♠ ジェニーと遊ぼう (毎金曜日)
フォニックスとゲーム
- ♠ YWAMの青年たちと遊ぼう (毎木曜日)
Sarahさんの英語はしばらくお休みです。
YWAMのお兄さんお姉さんが遊びに来て
くれます。



● 新年度が始まり1ヵ月が無事過ぎました
1年生11人、2年生1人入所、児童数が増し、
4月は平常より多くのスタッフで保育に当たりました。
大きなケガや事故がなかったことがまず感謝です。
初めての学童生活や自分たちより大きなお姉さん、
お兄さんがいる環境で、慣れない1年生、
保護者の皆さん、どんな感想をおもちでしょうか？

● 連休明けはいよいよ学校生活も本格的になる時期、
連休の疲れを残さないようにして、また4月の生活に
修正をかけながら、学童生活をさらに軌道に乗せて
いきたいと願っています。困りごと、不安、疑問等
ありましたら、お気軽にスタッフに相談してください。

< 4月のふりかえり >

● イースターエッグハント

キリストの復活を祝うイースター。

たまごはいのちの象徴です。学童のあでは春の訪れを
喜びつつ、あちこちに隠されたイースターエッグに
見立てた小さなおかしの入った色とりどりのガチャ
ガチャカプセルをみんなで探すエッグハントを楽しみ
ました。ひとり4つ、と決めて探しますが、案外難し
かったりします。さっさと見つけてほかの子の分を
どんどん探してあげる子もいます。わいわい大騒ぎで
見つけた後は、おやつタイム。
カプセルには当たりの紙が入っているものもあり、
景品と交換してもらってやったー！と大喜びの声も響
きました。



● 虹と記念撮影

4月26日、雨が降ったあと学童から虹が見えました！
夕方になりずっと降っていた雨も気づけばやんでいて
「そういえば雨がやんでるね！もしかしたら虹が見えるか
もね！」とお話ししていたら、ちょうどお迎えで外に出る
と学童の玄関から虹が見えました！
大興奮の中、そこにいた子たちで記念写真を撮りました！
雨の日は公園に行けないので、レゴを出したり、普段は
カード作り2枚までがもう一枚描いて
もいいなど、その時その時にあった
雨の日サービスを行っています。
子供たちは「雨が降ったらレゴができる
から、雨降らないかなあ〜」と雨を
楽しみにしている子もいました！
これから、少しずつ梅雨に入っていく
ので、みんなで雨の日も楽しく過ごし
ていきたいと思います。



●たかが泥団子・されど泥団子

トミーは20年以上前に「光る泥団子」に魅せられ、以来毎年初夏のころの雨上がりには、「さあ泥団子日和だ！」と泥いじりを始めます。何十年前前からの「光る泥団子」を大事に保管してきましたが、どれも健在で昔と変わらぬ光り具合です。中でもワタルくんが6年生の時3日で作って富江にプレゼントしてくれたものは、キズ一つなく全体がつるんとして、まさにおやじのハゲ頭のようなつややかな輝きを失ってはいません。(2,000年の頃)

その泥団子は「ワタルのスーパー泥団子」と命名して、学童っこたちに毎年見せてあげています。

一目見た子は目を輝かせて、ぼくも作りたい！

わたしも作りたい！と叫んで泥だんごづくりを始めます。

今年はコロナ感染が始まった2020年以来久しぶりに本格的に取り組んでみました。前後2回ヤル気のある子たちと団地に粘土質の土を採取にもいきました。

すでに経験のあるAくん、Bちゃん、Cちゃん、Dくんは手慣れたもので、それぞれに光る泥団子に仕上げていきました。

光る泥団子は1日ではできません。日々それなりのお世話をし育て上げていきます。

諦めの早い子もあれば、パッと興味の火がついて始めても次の日には泥団子の存在すら忘れてしまい放ったらかしになり、干からびて放置される運命の泥団子もあちこちに。

4月下旬の数日、キズがありながらも一部光り出し次々「光る泥団子」が仕上がって殿堂入りを果たしていた頃、Eくんは途中でヒビが入ったりして何度もやり直しをしていました。あきらめてしまうのだろうか？ 努力が報われず泣き出すのではないかと？

殿堂はあと一枠というところまで来ていて、スタッフは焦りました。。結果、今度もダメかもと心配していた団子がこすっていると光り出し、無事最後の枠で殿堂入りを果たしました！！

「光る泥団子」の展示をしていますので、お迎えの時ご覧になってください。



泥団子作りに夢中



杉浦正明編著

「児童精神医佐々木正美のことばの森」から引用

<母親> P26~29 (抜粋)

◆自信は人を信じることから生まれる。だから人生の初期に、母親を強く信じることができた子どもは幸せである。

◆人を信じる力が弱ければ自分を信じる力も弱い。母親への信頼感が弱い子はささいなことで劣等感を持ち、くじけやすい。

◆子どもが「いい子」になると可愛がるお母さんがいる。しかし、子どもは可愛がられると「いい子」になるのである。

●笑顔いっぱいのおやつ時間

4月は泥団子にちなんで、おやつにたこ焼きやお団子など、丸いおやつが出てきました！ たこ焼きは、作りたい！と集まってきた高学年のお兄さんお姉さんたちが中心となって作り、お団子は興味をもった低学年の子とYWAMのお兄さんたちが中心となって作ってくれました。他にも4月は、おやつにフルーツサンドやオートミールクッキーなどが出てきて、作りたいと言ってくれた子たちと一緒におやつ作りも行いました！ 作ったみんなも「おかわり！」や「美味しい！」の言葉を聞いて嬉しい気持ちになって、いつもとまた違った楽しさと笑顔があるおやつ時間となりました！



<保護者の皆さまにお願いです>

★今後暑い日や雨の日が予想されます。1~3年生の着替えの確認をお願いします。春の衣服のままの着替え袋もありますので、夏服用の着替え袋がある場合は、お迎えの時などに持ってきていただければ預かります。これから汗をかく季節がやってきますので、4年生以上のお子さんの着替えも必要に応じて預かります。雨が予想されるときは、靴下等の履き替えもよろしくをお願いします。

★欠席連絡をいただく時には、差支えない範囲で理由等お知らせいただくとありがたいです。